シネマズライフ

2017年7月7日発行 第127号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『時時巡りエブリデイ』

「ときどきめぐりえぶりでい」と読むらしい。【時時】は【時々】とした方がいいや…と書くのはまあ、大きなお世話で…(笑)

【最近のこれはまずいぞ！】『君の膵臓をたべたい』

なぜか【膵臓】だと内臓感がキツく気持ち悪いが、これが【心臓】だとそうでもないのが、不思議…。

映画の風景 日本の風景

※ 鹿児島県 屋久島 ※

← 屋久島の山々

『浮雲』という映画があった。こんな映画だ。

昭和18年、農林省のタイピストとしてベトナムへ渡った幸田ゆき子は、農林省技師の富岡と親しくなる。しかし、彼には妻がおり、それを知りながらも別れられない。そして終戦。富岡は「必ず妻と別れる」と約束して帰国。後を追って日本に帰り富岡を訪ねるが、彼は妻とも別れておらずゆき子は失望する。

しかたなく、ゆき子はアメリカ兵の愛人となっていたが、富岡が訪ねてきて再び関係が復活。アメリカ兵とも別れ、伊香保温泉に湯治に。ところが、湯治先で親しくなった男・清吉の年下の妻・おせいと富岡がねんごろ(！古い表現！)になってしまい、ゆき子はあきれ再び別れる。

しかし、その後ゆき子は妊娠が発覚。悩んだ末に過去に因縁があった義理の兄・伊庭を頼り病院に入院、愛人となってしまう。

そんな中、また富岡が訪ねてきて妻が亡くなり葬儀代がないので貸してくれと言うのだ。あきれるゆき子だが、怪しげな新興宗教の教祖をしている伊庭の金を与える。贅沢な生活をするゆき子だったが気分はすっきりせず、やがて思い切った行動にでる…。

男と女とは不思議なもの。この映画のゆき子もこんな男と別れりゃいいものをと思うが、なぜか別れられない。しかし、ひたすら富岡に愛し続ける情念はうらやましくもある。

ゆき子が最後に富岡との最後の場所となった屋久島。どんよりと曇っている日も多いが明るく山々も見れる日もある。悲しい情念に揺らわれた人に〈曇った日もあるが、晴れた日もあるよ〉と言ってあげたい。

『浮雲』1955年日本 監督：成瀬巳喜男 原作：林芙美子 出演：高峰秀子 森雅之 岡田茉莉子 山形勲 中北千枝子 加東大介

最初から最後まで暗いトーンが続くが、ゆき子演じる高峰秀子の若い時代の溌剌とした風情と時が経つほどに人生の重さを背負う辛さを見せる演技力はさすがである。

コラム

世界中がざわざわ しすぎて文章までも ざわざわした件

とにかく、落ち着かない。ここ数年世界的にざわざわしている。

ようやく、中東ではIS(アイエス)がなんとかなりだしたかと思ったら、世界中に波及しだし、フィリピンが大変。しかし、日本人はほとんど《英語》をしゃべりもしないし書けないから、とばっちりが来ないのでうれしいのか残念なのかよくわからない状態で、国会では総理のお友達の【加計学園】の獣医学部がとん挫しかけていて、おっと！その前に大阪では【森友学園】の方が先だったなと思いつつ、いまだにモヤモヤが取れず、そんな中、季節外れの台風が日本を通り抜け、被害に遭った方々にはお見舞い申し上げます。

一方、アメリカでは、大統領になったトランプ氏が、うまくやっているようには見えないにもかかわらず、ご本人はすごくうまくやっていると思い込んでいるみたいで少々心配だし、ヨーロッパでもEU離脱を決めたのに「ほんとに離脱」できるの？なんて思う状態で、日本のお隣では「うつぞ！うつぞ！」とかまえていて、日本も落ち着かない日々が続き、私ごときの小市民がどうにもできないと思いつつ、なんとかうまく収まってほしいよな願う日々…。

という事で文章もざわざわして落ち着かずごめんなさいでした…って…アレ？

↓ざわざわした昨今、せめて花火でも見て気をまぎらわしてもらえたら…

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『舞妓Haaaan!!!』

WOWOW

2007年 日本

監督：水田伸生 脚本：宮藤官九郎

出演：阿部サダヲ 堤真一 柴咲コウ 小出早織 京野ことみ キムラ緑子 大倉孝二 生瀬勝久 真矢みき 伊東四朗 植木等

7月10日（月）18:30

修学旅行先の京都で迷子になり、舞妓に助けられて無類の舞妓ファンになってしまった鬼塚公彦。しかし、東京在住の公彦はまだ《舞妓遊び》はした事はなかった。ところが、人事異動で京都に転勤する事に。大喜びの公彦だが、一人悲しみにくれるのが公彦の恋人の駒子。ウキウキ気分の公彦は、泣いて追いすがる駒子を振り切って京都に向う。しかし、京都に住んでだからといってすぐに《舞妓遊び》ができるワケではなく、頼みの綱の社長には「実績を上げてからにしろ」っと言われ、公彦は実績作りに奔走する…。

阿部サダヲが柴咲コウを振っただけでもすごい映画！！

何事も、目的に向かって一直線の鬼塚は、生きる上で今一番必要なものじゃないかと思ったりする。《舞妓遊び》をやりたい為に、仕事一直線の単細胞な鬼塚を見て社長の言う名言をお見逃しなく。

☆「シネマズライフ」1号の紹介文を改訂・掲載しました。m(_ _)m

『テラフォーマーズ』

WOWOW

2016年 日本 監督：三池崇史

出演：伊藤英明 武井咲 山下智久 山田孝之 小栗旬ケイン・コスギ 菊地凛子 加藤雅也 小池栄子 篠田麻里子滝藤賢一 太田莉菜 福島リラ

7月13日（木）16:45【シネマ】

8月14日（月）24:00 ⇒ 8月15日（火）0:00【プライム】

21世紀。地球では人類過剰の危機を迎え、火星への《移住》を計画。そこで火星の地球化（テラフォーミング）の為、特殊なコケとそれを繁殖させる【虫】を火星に送り込む…。

そして５００年。火星は地球化が進み、地球から火星の【虫】を駆除する為に15人の調査隊が送り込まれた。しかし、この15人は一癖も二癖のある人間ばかり、火星に到着しても波乱含みだ。

さて【虫】を駆除すべく火星の地に降り立ったとたんに何者かに襲われる。人間はいないはずでは！と思いきやなんと【虫】が知能をつけ人間化しており、調査隊の殺戮を始める。ところが、それに対抗する為15人の体には“特殊能力”を与えられていた…。

【虫】とはゴキブリの事。もし、人間が絶滅してもゴキブリは生き残るといわれています。

《お詫び》

126号『アイアムアヒーロー』のon air

7月15日（土）25:00 ⇒ 6月16日（日）1:00【シネマ】

は深夜日付を間違っていましたm(_ _)m。正確には下記です。

7月15日（土）25:00 ⇒ 7月16日（日）1:00【シネマ】

『ラブ＆ピース』

2015年 日本

監督 脚本：園子温

音楽：福田裕彦 特撮：田口清隆

出演：長谷川博己 麻生久美子 渋川清彦 奥野瑛太 マキタスポーツ 深水元基 手塚とおる 松田美由紀 西田敏行 星野源 中川翔子 大山イヌコ

サラリーマンの鈴木良一はかつてはロックスターを目指していたが、夢破れ暗い日々を送っていた。

彼の生きる糧（かて）は、同僚の裕子と亀の《ピカドン》だ。夢を捨てきれず毎日のように、「日本スタジアムでのライブを」という夢を《ピカドン》に語りかける良一。

ついに内緒で会社に《ピカドン》を連れていくまでに。ところが、同僚にバレてしまい思わずトイレにを流してしまう。慌てても後の祭り、良一は嘆き悲しむ。

一方、トイレに流されて下水道の流れにまかせていた《ピカドン》だったが、たどり着いたのは、捨てられたおもちゃに囲まれた老人の住む下水道の一角。不思議な事におもちゃ達はしゃべる事ができ、人に捨てられたそれぞれの運命を悲しんでいた。

老人は〈しゃべる事ができる飴〉を与えるが間違え〈願いを叶える飴〉を与えてしまう。

すると《ピカドン》は、少し大きくなり良一に不思議な事が起こり始める…。

この映画はファンタジーなのだろうか？男の妄想の話なのだろうか？それとも頑張る男を応援する映画なのだろうか？

どんな役を演じても気合が入りすぎる主演の長谷川博己と癒し系俳優の西田敏行の演技ゆえか、幸せな気分になる不思議な映画でもあります。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は7月21日。発行予定は第一・三金曜日です。

【編集後記】

☆台風がきて、梅雨の雨を刺激したようです。やはり温暖化が原因だと思われていて、天気までもざわざわしだしているようです。

☆そこで一句

台風も 忖度忘れる 温暖化

皆さまお体大切に！ かしこ m(_ _)m

シネマズライフ127号
発行人：貴樹諒音
発行日：2017年7月7日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

↑せめて上高地の写真で清々しく。

奥付

シネマズライフーcinemaz-lifeー １２７号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

著者：貴樹 諒音

メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《ＷＯＷＯＷ》
『舞妓**Haaaan!!!**』
『テラフォーマーズ』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiの**My**ムービー
http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※& 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※&
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.